

企画セッション

◆ 不競法改正とAI、ビッグデータ ◆

～変化する知的財産とノウハウ・営業秘密・契約の将来～

【講演者】

パネラー	渡邊佳奈子 (経済産業省 知的財産政策室長)
	加藤浩一郎 (金沢工業大学 虎ノ門大学院 教授)
	西幹真一郎 (ゼンリン 法務・知的財産部 部長)
	今子さゆり (ヤフー シニアオフィサー)
モデレーター	佐野裕昭 (住友電工 知的財産部長、日本知的財産協会 副理事長)

【背景】

IoT、AI、ビッグデータ等の情報技術を基盤とするデジタルイゼーションは社会生活や産業構造を大きく変えつつあり、第4次産業革命と呼ばれている。ここでは、現実空間の大量のデータをビッグデータとして収集し、処理能力が拡大したAI等を駆使してサイバー空間で処理し、価値情報を現実世界に還元し活用する。結果として生じた変化は新たなデータとして再びサイバー空間に還流する。このような現実空間とサイバー空間の結びつきにより、SNS上に拡散する個人個人の嗜好・思想から、移動する自動車に搭載されたセンサー情報、医療検査の結果、企業内に集積された製品の製造ノウハウ、など多様なデータ群が、単独でまたは組み合わせて新たな産業の基盤となりうる時代が到来している。一方で、米国でのSNSデータの不正利用や多くの個人データの流出事件、などデータの管理や利用に関わる負の側面も顕在化している。

【本セッションの内容】

1. 不正競争防止法、著作権法の改正目的と内容

従来の知的財産関連の法制度は、データやそれに基づく価値情報などの保護に関しては十分ではなく、新たな法制度の整備が求められてきた。これに対応するため、データや個人情報、著作物の保護について、各国・地域で法制度の制定が検討、施行されている。日本では昨年来不競法、著作権法の改正が行われている。これらの法制度の整備は、次世代産業の健全な創出成長の基盤とするべく、先行的に制定されている。本セッションの一つの目的は、これらの法改正の目的と内容を把握することにある。

2. データを基盤とする産業とデータ保護法制

一方で、データを基盤とする産業は、元データの提供、データの収集、補正・構造化などデータのクレンジング、データの分析、処理結果の還元・利用、など多くの工程から構成され、データ関連の法制度は事業運営に大きな影響を与える。今回のセッションでは、長期にわたり蓄積した地図情報と処理ノウハウを有するデータホルダーであり地図に関連付けて種々の情報を提供している株式会社ゼンリンと、サイバー空間で多様な情報を収集、提供する日本を代表するプラットフォーマーであるヤフー株式会社の事業内容とデータ保護に関する考え方について紹介する。

企画セッション

◆ 不競法改正とAI、ビッグデータ ◆

～変化する知的財産とノウハウ・営業秘密・契約の将来～

3. 産業に資する知財法制度についてのパネルディスカッション

これらの報告・紹介を踏まえてパネルディスカッションを行い、日本の次世代産業の成長に寄与するデータ関連法制度の課題や解決策について議論を行う。

【講演者略歴】

○渡邊佳奈子 経済産業省 知的財産政策室長

1998年経済産業省入省。経済産業政策局産業組織課(LLP法制定)、商務情報政策局コンテンツ産業課、通商政策局アジア大洋州課(アセアン諸国担当)、内閣府知的財産戦略推進事務局等を経て、2018年7月より、現職。

○加藤浩一郎 金沢工業大学虎ノ門大学院 教授

東北大学大学院(博士後期課程)修了。日本IBM知的財産部門を経て現職。経済産業省「第四次産業革命に向けた横断的制度研究会」委員、特許庁知的財産国際権利化戦略推進事業(経営における知的財産戦略)委員長、知的財産大学院協議会(JAUIP)会長、知的財産管理技能検定試験委員等。平成28年知財功労賞受賞。

○西幹真一郎 株式会社ゼンリン コーポレート本部 法務・知的財産部長

学習院大学法学部法学科卒業。株式会社ナムコにて法務・著作権関連業務に従事(1997～2003年)。その後、株式会社ゼンリンにて法務部マネージャー、法務部長を経て2014年から現職。(一社)日本知的財産協会にてデジタルコンテンツ委員会副委員長(2006年～2010年)。(一社)コンピュータソフトウェア著作権協会にて侵害対策委員会ナビゲーション業界部会主査(2010年～2012年)および広報委員長(2014年～)。

○今子さゆり ヤフー株式会社 制作企画部 シニアオフィサー

早稲田大学政治経済学部政治学科卒。バルセロナ大学留学後、2000年よりヤフー株式会社。(一社)日本知的財産協会・著作権委員会委員長(2009-2012年)、常務理事(2013, 2014年)。文化審議会著作権分科会「著作物等の適切な保護と利用・流通に関する小委員会」委員等。

○佐野裕昭 住友電気工業株式会社 知的財産部長(モデレータ)

京都大学工学研究科修士課程修了。住友電気工業株式会社にて、光通信研究所研究員、光材料機能応用研究部長、研究統括部企画部長を経て、2012年から現職。

2012年から(一社)大阪発明協会理事/常任理事。

2016年から(一社)日本知的財産協会常務理事/副理事長。